

豊田市議会市民フォーラム

「令和5年度に向けた政策要望」

に対する回答

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.1

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 犯罪から市民を守る取組</p> <p>【具体的内容】 ①詐欺被害の未然防止</p> <p>【取り上げた理由】 ①犯罪に狙われやすい高齢者に向け、犯行に利用された詐欺電話の体験サービスなど、新たな手口を迅速にアップデートした対策の強化や、成人年齢引き下げに伴う消費者トラブル等の予防啓発の拡充を図り、被害を未然に防ぐ必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田警察署及び足助警察署との良好な連絡体制を維持しながら犯罪情報を収集し、新たな手口が確認できた場合には市民への迅速な情報提供に努める。 ・ 令和4年度に新規で特殊詐欺被害防止巡回として実施した、無人のATM設置施設などへの巡回を令和5年度も継続して実施する。 ・ 引き続き、高齢者交通安全防犯世帯訪問事業により特殊詐欺被害防止啓発を進めていく。 ・ 特殊詐欺被害等の未然防止を図るため、特殊詐欺被害等防止機器の購入費の一部を助成する補助制度を創設する。 (地域振興部 交通安全防犯課) ・ 悪徳商法による消費者被害やトラブル防止のためには、相談件数が増えている事案、新しい手口、注意が必要な商法について、市民へのタイムリーな情報提供が必要である。引き続き、消費生活講座の開催や、テレビ・ラジオを通じた情報提供に努め、市民各層への啓発活動に注力していく。 (産業部 商業観光課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪抑止活動費（85百万円） ・ 交通安全教育費（12百万円） ・ 特殊詐欺被害等防止機器購入費補助金（1/2） (4百万円 新規) ・ 消費者啓発費（5百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.2

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 交通事故削減に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①歩行者保護に向けた対策の推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①ゾーン30が設置できない生活道路において、地域要望を踏まえ速度抑制につながる狭窄対策や、学校周辺の横断歩道における安全対策の早期実現と体制強化が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域要望を踏まえ、警察署と連携し、速度規制と併せた狭窄などの速度抑制対策、横断歩道のカラー舗装化や「ぴかっとわたるくん」など横断歩道での確実な停止の確保が期待できる交通安全対策を引き続き進めていく。 ・ 地域の道路事情に即した安全対策が即時に実施できるよう、業務の説明会等を通じて、地域支援課及び各支所との連携を更に強化していく。 <p style="text-align: right;">（地域振興部 交通安全防犯課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止対策費 （167百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.3

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 災害対応に向けた ICT 環境整備の促進</p> <p>【具体的内容】 ①避難所における Wi-Fi 整備促進</p> <p>【取り上げた理由】 ①確実な情報収集や伝達ができる通信環境の構築に向け、Wi-Fi を避難所に整備するなど、正確な情報把握と対応につなげる必要がある。</p>	<p>・災害時において避難所での正確な情報把握の強化を図るため、令和4年度は、デジタル化推進本部会議の通信環境効率化部会での検討を行った。</p> <p>・令和5年度からは、全ての指定避難所にモバイルルーターを整備し、災害時に避難者が通信手段及び情報収集手段として携帯電話・スマートフォンを使用できるよう、通信環境の確保を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">（地域振興部 防災対策課）</p>	<p>・避難場所対策整備費 (13百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.4

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 災害対応に向けた ICT 環境整備の促進</p> <p>【具体的内容】 ②生活再建に向けた被災者支援システムの導入</p> <p>【取り上げた理由】 ②被災者台帳作成や罹災証明書の遠隔対応ができるクラウド型被災者支援システムを導入し、被災者に対する迅速な生活再建への対応とともに、他自治体からの応受援体制を整備することが必要である。</p>	<p>・生活再建に向けた迅速な被災者支援の強化を図るため、避難所の入退所管理、罹災証明書の遠隔対応や被災者台帳の管理、避難行動要支援者の管理がクラウド上で行える、クラウド型被災者支援システムについて、令和4年度は、内閣府主催による説明会や操作研修に参加した。今後は、導入自治体への調査や、他自治体の動向、他の先進技術も含め引き続き検討を進めていく。</p> <p style="text-align: center;">（地域振興部 防災対策課、市民部 資産税課、 福祉部 福祉総合相談課）</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.5

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【安心して暮らせるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 消防力の強化</p> <p>【具体的内容】 ①先進技術の導入による消防力の向上</p> <p>【取り上げた理由】 ①迅速な消防活動と消防隊員の安全確保の両立に向け、遮る視界の状態でも活動できる赤外線カメラなど、先進技術を積極的に導入し消防力の向上を図ることが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な消防活動と消防隊員の安全確保のため、先進的な資機材の導入や消防車両の機能向上を進めていく。 ・資機材については、登山による遭難者などの搜索時間の短縮を図るため、ルート確認や位置情報を把握できる登山用GPSアプリを利用する救助隊にスマートフォンを配備するほか、山岳救助用の資機材を充実させていく。 ・消防車両については、小型化により小回りが利き、屈折・伸縮するはしごにより隊員の災害現場への安全な進入や広い範囲での活動が可能となるはしご自動車への更新などを行っていく。 ・救急業務については、高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の更新に加え、モニター画面一体型の喉頭鏡や救急資機材の在庫管理を効率的に行うシステムを導入していく。 (消防本部 警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・救助・警防活動費 (34百万円) ・消防車両整備費 (235百万円) ・救急高度化推進費(うち、モニター画面一体型喉頭鏡) (1百万円) ・消防機械整備費(うち、救命処置訓練人形) (3百万円) ・救急活動費(うち、AED等更新費用) (2百万円) ・管理運営費(うち、在庫管理システム費用) (1百万円)

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.6

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 学校教育における ICT 活用の更なる充実</p> <p>【具体的内容】 ①タブレットの有効活用に向けた体制の構築</p> <p>【取り上げた理由】 ①タブレット等を有効に活用していくため、学校の要望に応じてタイムリーに支援できる体制の構築に向け、ICT等のアドバイスが出来る退職教員を活用した支援の拡充が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等を有効活用するための支援策としては、ヘルプデスクによる電話対応に加え、令和4年度によくある質問への回答などへ簡単にアクセスできるサイトを立ち上げ、教員が自ら情報を取得できるようにしている。 ・また、ICT支援員を学校の実態や希望に応じて派遣し校内研修などを行うほか、必要に応じて指導主事やヘルプデスクが現地で支援する体制をとっている。 ・教員のICT活用の状況を踏まえ、退職教員を活用したICT支援も視野に入れながら、今後も学校現場にとって最適な支援体制を考え、構築していく。 <p style="text-align: right;">（教育部 学校教育課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報化推進費（うち、学校教育情報システム運用管理支援業務委託費） （69百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.7

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 休日部活動の円滑な運営に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①休日部活動の支援体制の構築</p> <p>【取り上げた理由】 ①休日部活動のあらゆる問題に対し、運営主体などの相談や支援に関する窓口を設けて、包括的に対応できる協議会の構築が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平日も含めた部活動の地域移行について、運営主体などの相談や支援を含めた持続可能な環境整備に向け、令和4年度中に協議会を設置する。 ・令和5年度以降は、協議会による課題の精査と持続可能な活動環境の構築に向けた検討を行い、段階的な地域移行を進めていく。 ・協議会のメンバーは、市、市教育委員会、市スポーツ協会、市文化振興財団、企業、大学等を想定している。なお、協議会の設置から当面の間は教育部及び生涯活躍部で相談等に対応する。 <p style="text-align: center;">（生涯活躍部 スポーツ振興課、文化振興課、 教育部 学校教育課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共働の学校づくり推進費 （131百万円） ・こどもの文化・スポーツ地域活動推進費 （3百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.8

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 保育の質的向上への取組</p> <p>【具体的内容】 ①保育ドキュメンテーションの有効活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①保育業務支援システムにおける保育の質の向上や事務作業の効率化が期待できる保育ドキュメンテーション機能の有効活用に向け、保育士個々のスキルアップ等の人材育成やフォロー体制の構築が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ドキュメンテーション機能の活用に向け、令和4年度に設置したICT委員会において課題の洗い出しや解決策について引き続き検討していく。 ・全園導入時における機能の有効活用に向け、委員会の検討結果等を踏まえ、活用マニュアルの作成、必要に応じて保育士が相談できる体制の構築を行う。 ・また、好事例を委員会にて共有し、必要に応じて全園に展開するなど、全体のスキルアップを図っていく。 <p style="text-align: right;">（子ども部 保育課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT推進費（53百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.9

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子どもの権利を守る取組</p> <p>【具体的内容】 ①新たな子ども総合相談窓口設置 に向けた人材育成</p> <p>【取り上げた理由】 ①国のこども家庭庁の設置により 地方自治体において、こども家 庭センターの設置が予定される なか、本市の特徴を捉えた運営 方針や専門知識を有する人材の 育成が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども家庭センターについては、令和6年度当初のこども家庭課内への設置に向けて、現在のこども家庭課の機能を基本とした最適な業務体制等を検討中であり、今後、国が作成予定のセンター設置に向けたガイドラインも参考にし、具体的内容を詰めていく。 ・ 人材育成については、これまでも家庭児童相談担当と母子保健担当が相互の研修に参加したり、研修情報を共有したりする等、知識向上及び連携強化に努めているが、今後はこちらセンターの設置も見据えた研修内容の見直し等にも取り組んでいく。 <p style="text-align: right;">（子ども部 子ども家庭課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待防止費 （2百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.10

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【学び育むまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子どもの権利を守る取組</p> <p>【具体的内容】 ②ヤングケアラーの早期発見に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ②ヤングケアラーの早期発見のため、福祉・教育等の分野における横断的な調査体制を充実するとともに、国県からの情報収集に努めていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、地域住民の抱える課題を複数分野の機関で包括的に支援する「重層的支援体制推進事業」を実施しており、ヤングケアラーへの対応についても、この体制の中で、国県や他市の情報を収集・共有しながら、横断的に支援・啓発等の取組を進めていく。 ・ヤングケアラーについては、教育機関や各支援機関が日常の活動の中で対象者を把握しやすい状況にあるため、今後は市内小中高校の教職員や支援機関向けの研修を行い、「子どもの権利の侵害があるか」等の視点を盛り込んだアセスメントシートを作成し活用してもらうことにより、早期発見や支援につなげていく。 ・また、小中学校で実施している子どもの権利学習プログラムや市民向けの生涯学習出前講座等の中でヤングケアラーについて啓発することで、子どもや子どもの周りの大人が声を上げやすい環境を作っていく。 <p style="text-align: center;">（子ども部 次世代育成課 子ども家庭課、 教育部 学校教育課、福祉部 福祉総合相談課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多機関協働費 （うちヤングケアラー講師謝礼） （1百万円） ・子ども条例推進費 （うち、ヤングケアラー講師謝礼、 チラシ作成委託）（1百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.11

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 マイナンバーカードの利便性向上</p> <p>【具体的内容】 ①カードアプリケーションによる 公共サービス拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ①マイナンバーカードの利活用として、本市の公共サービスと連携し、市民の利便性向上となるカードアプリケーションによるシステム構築への取組が必要である。</p>	<p>・マイナンバーカードについては国でもスマートフォンへの機能搭載、健康保険証や運転免許証との一体化など加速度的に活用が進むことが想定されていることなども踏まえて、令和4年度からデジタル化推進本部会議内に「マイナンバー部会」を設置し、マイナンバーカードの利活用に向けて、市民サービスの向上はもとよりカード活用による内部事務の効率化も含め検討を進めている。これらの検討内容を踏まえて、必要な取組を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(総務部 行政改革推進課、情報戦略課)</p>	<p>・次世代通信網・データ活用推進費 (42百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.12

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 建設業における公共工事の適正化</p> <p>【具体的内容】 ①建設キャリアアップシステム導入に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①公契約の適正な履行に向け、建設キャリアアップシステムを入札条件に織込んだモデル工事を推進し、県や建設業協会と連携した実証への取組が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設キャリアアップシステム（CCUS）は、地元建設事業者の理解を得て進める必要があると考えている。 ・ 導入に向けた取組については、その促進を図るよう、総合評価方式における加点評価を検討する。 <p style="text-align: right;">（総務部 契約課）</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.13

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 自治体 DX による業務改善の推進</p> <p>【具体的内容】 ①衛星データの広域取得に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①庁内における巡視確認業務など、衛星データ活用による業務改善を評価したうえで、今後、多様な分野への活用を全庁的に研究し、国県との広域取得を含めた戦略的かつ効率的な取組が必要である。</p>	<p>・衛星データは本市においても様々な実証等で活用してきたところであり、ここで得られた知見や民間企業との意見交換などの情報収集を引き続き行いながら、本市にとって有益となる取組については、引き続き実証などを通じて取り組んでいく。</p> <p>・衛星データの広域取得については、国や県との意見交換なども行いながら、それらデータの利活用について民間企業との連携も含めて模索していく。</p> <p style="text-align: right;">（総務部 情報戦略課）</p>	<p>・次世代通信網・データ活用推進費（42百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.14

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 自治体 DX による業務改善の推進</p> <p>【具体的内容】 ②データセンターの誘致に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ②国の方針であるデータセンターの地方分散の展開や、本市の将来的なデジタル基盤の構築に向け、データセンターの誘致につなげるための調査研究が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンターの設置には、自然災害のリスクが低いなど様々な立地条件が求められる。 ・本市の産業誘致の現状及び立地制約を踏まえ、国や他自治体、データセンター事業者等の動向に注視しながら、データセンターを始めとしたデジタルインフラについて、調査研究を続けていく。調査研究をしていく際には、国庫補助の活用や民間企業との連携などを視点として持ちながら進めていく。 <p style="text-align: center;">（総務部 情報戦略課、産業部 産業労働課）</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.15

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 自治体 DX による業務改善の推進</p> <p>【具体的内容】 ③オープンデータ化の早期実現</p> <p>【取り上げた理由】 ③二次利用しやすいオープンデータを増やし、庁内部局間での活用やデータから新たなサービスへつなげるため、各部局によるデータ化の早期実現に向けたロードマップの策定が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田市デジタル強靱化戦略に位置付けているオープンデータ等の活用については、令和3年度及び4年度において全庁取組方針として位置付け取組を進めてきた。その中で、豊田市オープンデータガイドラインの改定を進め、国が推奨するデータのオープンデータ化を始め、少しずつオープンデータの拡充を進めている。また、企画政策部・総務部の関係課で構成するデジタル化推進チームでもデータの利活用について重点的に検討を進めてきた。 ・ 令和5年度においても、国が進めるデジタル田園都市国家構想等の考え方などを踏まえ、本市のデータ利活用を積極的かつ戦略的に進める調査・研究を行うとともに、データ分析ツールの更なる活用及び官民連携などの取組を加速させ、地域課題の解決に取り組んでいく。 ・ また、令和5・6年度取組方針においてはオープンデータ化するデータ数などの目標値も持ちながら全庁的に進めていく。さらに、匿名加工情報については今後の国の動向等も踏まえて整理・検討を進めていく。 <p style="text-align: right;">（総務部 情報戦略課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代通信網・データ活用推進費（42百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.16

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 更なる歳入確保に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①ふるさと納税による財政収入の促進</p> <p>【取り上げた理由】 ①ふるさと納税の更なる寄付金の獲得に向け、ニーズに沿った返礼品の充実と、利用施設などにふるさと納税自動販売機を設置し、来訪者が簡単に寄付できる環境整備が必要である。</p>	<p>・ふるさと寄附金制度については、市内特産品や本市への来訪型のサービスを返礼品として提供することで、本市の魅力在全国に発信するツールであると捉え、市内事業者と連携した返礼品の拡充を進めている。</p> <p>・ふるさと納税自販機については、初期費用やリース料等、費用対効果を検証する必要があり、すぐに導入することは困難であるが、引き続き、ツーリズムとよた等と連携しながら、本市への来訪者をふるさと納税につなぐPR方法を検討していく。</p> <p style="text-align: right;">（企画政策部 企画課）</p>	<p>・ふるさと寄附金推進費 （127百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.17

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 道路の適切な維持管理に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①道路舗装に係る新素材の積極的活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①道路舗装に係る耐久性の高い新素材の活用面積拡大を推進し、ライフサイクルコストの低減と安全確保につなげる必要がある。</p>	<p>・ライフサイクルコストの低減に向けた取組として、舗装修繕工事では、抵抗性が高い改質アスファルト合材を使用している。 ・このほか、新技術として登録されるアスファルト合材などの使用も積極的に進めていく。</p> <p style="text-align: right;">（建設部 道路維持課）</p>	<p>・道路修繕費（1,875百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.18

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 道路の適切な維持管理に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ②道路デジタルメンテナンス戦略の推進</p> <p>【取り上げた理由】 ②ICTやAIなどの新技術を活用したメンテナンスオペレーションを構築し、デジタルによる効率的な道路維持管理に転換する必要がある。</p>	<p>・道路舗装の適切な維持管理に向け、これまでに車両タイヤの挙動から路面状態を把握したデータを舗装修繕計画策定における補足値として活用している。令和4年度は、カメラ画像をAI分析し舗装の突発性損傷を把握するシステムなどの試行運用を進めており、令和5年度から本格運用をしていく。 (建設部 道路維持課)</p>	<p>・道路修繕費（1,875百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.19

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 水道の健全経営に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①水道施設の最適化</p> <p>【取り上げた理由】 ①効率的な水運用に向け、より効果の高い水道施設から順次統廃合を進め、施設の最適化を図るとともに水道事業の基盤強化につなげる必要がある。</p>	<p>(水道事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水運用の効率化と水道事業の基盤強化を図るため、老朽化により一部の施設が更新時期を迎えている藤岡地区から、将来の更新事業費や維持管理費を低減する施設統廃合を進めていく。 (上下水道局 企画課、水道整備課、上水運用センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 配水区域再編事業費（藤岡地区） (112百万円)

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.20

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 市内産業の活性化に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①豊田市カーボンニュートラル創設促進補助金の対象拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ①既存事業である創エネ設備の導入に対する補助制度に加えて、省エネ設備にも対象拡大を図ることで、エネルギーコスト増への対応や環境課題に取り組む中小企業に対する支援の拡充を図ることが必要である。</p>	<p>・基幹産業である自動車産業が100年に一度の変革期を迎える中、引き続き本市のものづくり産業の活力を維持、発展させていくためには、製造業事業者のカーボンニュートラルへの対応が重要であることを踏まえ、令和4年度から創エネ設備の導入に対する支援を開始し、令和4年10月から冷蔵庫、空調などのユーティリティ設備の省エネ化に対する新たな支援も始めている。</p> <p>・令和5年度から、新たに省エネに資する生産設備の導入を支援していく。</p> <p style="text-align: right;">（産業部 産業労働課、商業観光課）</p>	<p>・カーボンニュートラル創エネ促進補助金（500百万円）</p> <p>・カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金（500百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.21

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 市内産業の活性化に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ②新たな企業立地への取組</p> <p>【取り上げた理由】 ②企業立地の進出意向が供給より高いことを踏まえ、新たな企業立地に向けた取組を通じて、市内経済と雇用の維持向上につなげる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市による産業用地整備事業を推進するとともに、産業用地適地候補地を調査し、次期整備地区を検討していく。 ・また、新たな産業用地の創出には、民間事業者による開発も重要となるため、企業立地奨励金など、民間開発を促進するような施策を引き続き検討していく。 (産業部 産業労働課、企画政策部 土地利用調整課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業誘致活動費（17百万円） ・企業立地奨励補助金 (937百万円) ・豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金 (40百万円)

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.22

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【くらしを支えるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 市内産業の活性化に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ③次世代航空モビリティの産業化に向けた伴走型支援</p> <p>【取り上げた理由】 ③次世代航空モビリティの高い市場成長予測を鑑み、庁内における活用の検討や市内企業を巻き込んだサプライチェーンの構築など、産業化に向けた伴走型支援を図る必要がある。</p>	<p>・「次世代航空モビリティ協業ネットワーク」において、次世代航空モビリティの開発・製品化の加速に向けた「開発報告＆提案会」の開催、社会受容性の向上に向けた講演会等を実施するほか、新たな参入企業の募集セミナー等を実施し、次世代航空モビリティの地域産業化を目指していく。</p> <p style="text-align: right;">（産業部 次世代産業課）</p>	<p>・次世代航空モビリティ産業化推進費（13百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.23

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 カーボンニュートラルの実現に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①脱炭素先行地域選定への取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①国が公募する脱炭素先行地域に選定された他市の状況を見極めながら、産学官での連携による再生可能エネルギーの導入に向け、再応募への更なる取組が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素先行地域は、家庭や事業者の脱炭素化を合意しながら進めていくことが求められており、再生可能エネルギーの導入とその利活用も含め、多様な主体との連携を実施しなければならないため、「豊田市つながる社会実証推進協議会」の企業等とともに、脱炭素先行地域の制度活用も含め、エネルギーの地産地消に向けた調査・研究を進めていく。 ・本市がこれまで官民連携で進めてきた先進技術の活用は、既存技術による脱炭素化を目指す脱炭素先行地域の制度による支援の活用が限定的となる可能性があるため、脱炭素先行地域の支援制度も視野に入れながら、本市が取り組んできた先進的な環境・エネルギーの取組への支援制度として最適な制度を選択し、活用する。 <p style="text-align: right;">（企画政策部 未来都市推進課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーシステム推進費 （23百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.24

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 カーボンニュートラルの実現に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ②公共施設への創エネ設備設置に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ②市が所有する施設等への創エネ設備の普及を促進するため、民間が運営する初期投資やランニングコスト等がかからないPPA事業等の創エネ設備設置の検討が必要である。</p>	<p>・公共施設への太陽光発電設備設置に向けては、令和4年度に実施した太陽光発電設備設置可能性調査の結果を基に、最大限設置することを目指す一方で、導入のための事業費を抑制・平準化するため、国の活用可能な補助金の整理と、リースやPPAなどの民間活力による導入手法の検討を実施し、導入に向けた具体的な事業計画を取りまとめていく。</p> <p style="text-align: right;">（環境部 環境政策課）</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.25

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 カーボンニュートラルの実現に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ③成果事例の活用による市内事業者への啓発強化</p> <p>【取り上げた理由】 ③市内事業者への脱炭素参画促進のため、脱炭素スクールの成果事例等を公開し、脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成に取り組む必要がある。</p>	<p>・第1期脱炭素スクールの取組内容や成果については、今後の市内中小企業が脱炭素経営を進める上で参考となるよう事例集としてまとめ、市のホームページ等で紹介するとともに、第2期以降もスクール最終回の成果報告会は、関係者に限らず一般に公開することで、新たなスクール参加への意欲向上や中小企業の脱炭素化の機運醸成につなげていく。</p> <p style="text-align: right;">（環境部 環境政策課）</p>	<p>・地球温暖化防止対策関連費 （脱炭素スクール運営業務委託費） （3百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.26

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 超高齢社会への対応</p> <p>【具体的内容】 ①認知症サポート事業所認定制度の導入</p> <p>【取り上げた理由】 ①認知症サポートを実施している事業所の認定制度を設け、認定事業所を増やすとともに、勤める人もサポーターとして見守る体制を拡充していくことが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座については、全世代を対象として実施しており、とよたSDGsパートナーや包括連携協定企業を始めとした市内企業・事業所等職員の受講により、企業等における認知症サポーターも着実に増えており、引き続き、企業等への働きかけを行っていく。 ・ これに加え、認知症への取組を強化するため、令和3年度から「認サポ×店舗プロジェクト」を開始し、参加企業従業員を対象とした認知症サポーター養成講座の実施を始め、認知症の人の社会参加支援に取り組んでおり、今後、さらなる企業の取り込みを図っていく。 ・ 事業所の認証制度としては、愛知県が「あいち認知症パートナー企業・大学」の登録制度を設けているが、制度の周知が不十分なことから、市内企業等の登録が進んでいないため、広くPRを行い、制度の活用を促していく。さらに、豊田市においても、認知症啓発のための広報誌を作成し、市ホームページ上に公開するなど、認知症への取組を積極的に行う企業等を広く紹介し、企業による認知症への取組の裾野を広げていく。 <p style="text-align: right;">（福祉部 高齢福祉課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症地域支援推進費 （2百万円） ・ 認知症地域共生推進費 （1百万円）

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.27

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 地域における移動支援の取組</p> <p>【具体的内容】 ①自動運転の実装に向けた整備推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①公共施設の敷地など自動運転の実装エリアを選定し、自動運転に係るインフラ整備等を豊田市つながる社会実証推進協議会との協働により、レベル4の運用に向けた取組が必要である。</p>	<p>・RTK-GPS基準局などを活用し、「豊田市つながる社会実証推進協議会」会員と連携し、本市における自動運転の実装に適したエリア、必要なインフラや仕組みなどを見極めながら、法改正などの国の動向も踏まえた、より高レベルの自動運転の実用化に向けた実証を展開する。</p> <p style="text-align: right;">（企画政策部 未来都市推進課）</p>	<p>・先進技術等移動支援事業費 (10百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.28

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【共に支えあうまちづくり】</p> <p>【要望内容】 持続可能なまちづくりに向けたSDG sの推進</p> <p>【具体的内容】 ①SDG sパートナー認定制度の早期実現と運用</p> <p>【取り上げた理由】 ①SDG s評価指標による認定制度を構築し、企業や団体等の取組評価の見える化により、金融フレームワークによる金融機関からの融資やビジネスマッチング等につなげる伴走型支援が必要である。</p>	<p>・令和5年度に、持続可能な経営、地域内の経済循環の創出を目的として、新たに「SDG s 認証制度」を導入し、これまでのSDG s に対する取組に対する評価とこれからの目標等が見える化し、財政支援などのインセンティブの付与を通じて企業における更なる行動促進へとつなげていく。 (企画政策部 未来都市推進課)</p>	<p>・SDG s 推進費 (委託料うち、14百万円)</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.29

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【魅力を共感するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 大規模イベントを生かしたまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ①ジブリパークと連携した交流人口の拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ①ジブリパーク全エリア開園による相乗効果を意識したイベント開催や 交通、宿泊等の環境整備を進め、本市への誘導につなげる必要がある。</p>	<p>・令和4年5月に市内の観光、宿泊、交通等に関わる事業者とともに「豊田市ジブリパーク来訪者おもてなし協議会」を設立し、11月のジブリパーク開園に合わせ、タクシー利用補助等の取組を実施した。令和5年度も、引き続き同協議会においてジブリパーク第2期整備エリアオープンを見据えた取組を実施していく。</p> <p style="text-align: right;">（産業部 商業観光課）</p>	<p>・観光まちづくり推進費 （12百万円）</p>

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.30

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【魅力を共感するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 大規模イベントを生かしたまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ②WRCを生かした地域資源の発掘</p> <p>【取り上げた理由】 ②本市が主催者となるWRCの開催に合わせ、地域資源の活用を独自に推進することで市の魅力発信や市内製品の販売促進につなげる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は宿泊、飲食、ラリー観戦、地域の魅力体験をセットにしたツアーを販売した。また、地域の食材を活用したお弁当を企画し、観戦エリアでの販売などを行った。 ・令和4年度の成果や課題を踏まえ、取組の拡大を図っていく。 (生涯活躍部 ラリーまちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界ラリー選手権開催推進費 (670百万円)

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.31

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【魅力を共感するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 大規模イベントを生かしたまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ③持続可能なWRC運営に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ③持続可能な運営主体としていくためにも、競技で使用するコースに名前を付けるネーミングライツ等の権利の販売や、ふるさと納税による収益を確保していくことが必要である。</p>	<p>・WRCを継続的に開催するための財源確保に向けて、タイトルスポンサーや競技コースへのネーミングライツなどの企業協賛の獲得、チケットやグッズ販売による収益の確保などを図るとともに、自治体が事業主体となるメリットを最大限に生かした国の交付金や企業版ふるさと納税などの制度を活用していく。 (生涯活躍部 ラリーまちづくり推進課)</p>	

豊田市議会市民フォーラム「令和5年度に向けた政策要望」への回答

No.32

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和5年度当初予算) その他参考事項
<p>【魅力を共感するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 山村地域の持続可能な環境整備の推進</p> <p>【具体的内容】 ①山村地域の情報通信基盤の整備と活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①山村地域における雇用の創出や事業継続に向け、先進技術やICTの活用を推進するため、豊田市つながる社会実証推進協議会との協働によるローカル5G活用モデル創出への取組が必要である。</p>	<p>・豊田市デジタル強靱化戦略に基づき、引き続き、限定されたエリアでの通信環境の向上やデジタル技術の活用に効果を発揮するローカル5Gの利活用については、国・県の動向や、民間企業との意見交換を重ねながら調査・研究を進めていく。 (総務部 情報戦略課)</p> <p>・「豊田市つながる社会実証推進協議会」の会員と共に、山村地域の課題解決に資する先進技術の実用化に向けた調査・研究を進めていく。 (企画政策部 未来都市推進課)</p>	<p>・次世代社会システム実証推進費 (154百万円)</p>

